

神愛保育園もちつき
ひだまりさんも一緒に



【明けましておめでとうございます】

どんな新年をお迎えですか。暗いニュースの多い昨今ですが、尊敬する沖縄の園長先生が「子どもの居る幸せ」をこんな時代だからこそ、声を大にして伝えたいとおっしゃっていました。本当にそうだと思います。私たちは子どもたちからどれだけ多くの幸せをもらっていることか…。いつも、かわいいとばかりはいえない時もありますが、子どもたちの存在が、社会を明るくし、笑顔を作り出してくれていることは、とても大きなことです。

ここで、日々子育てに奮闘している皆さんに考えてみて欲しいのです。わが子はかわいくて大事に育てたいと思います。でも、お母さん（お父さん）の思う“大事にすること”は、子どもに“大事にされている”実感として、伝わっているでしょうか。

子どもが“大事にされている”と実感として感じるのはどんな時でしょう。

《かわいい洋服を買ってもらったとき？》《高価な良いおもちゃを買ってもらったとき？》これはちょっと違うのではないかと思いますか？

子どもが大事にされていると実感して育つ時、その子どもは自分に自信を持ち、周りの人を信頼できる人になると信じています。そして、そんな人の集まりは、豊かな社会を作るのではないのでしょうか。

自分の体験を振り返ったりしながら“子どもを大事にすること”を自分の価値観からだけでなく、子どもの立場になって考えてみませんか。

神愛保育園園長 伊藤美代子

どうする？ どこ行く？ 幼稚園！

来春の幼稚園募集も終了。あっという間に子供は3歳。「幼稚園どうしたらいいのだろうか？」とお考えの方も多はず。そこで、入園にまつわるお話や特色をうかがいました。

★ひだまりでの少人数の座談会と、お友達などからお話を伺い、まとめました。ご了承ください。★

Q：いつごろから準備しましたか？

A：「4月から」「7月から」などありましたが、夏ころまでには始められているようです。

Q：情報入手先は？

A：インターネット、口こみ、園へ足を運ぶなど。

開放行事もありますので、「絶対に行ってみるべき」とのお話でした。

Q：面接の様子は？

A：「夫婦で来る家庭が多い」「面接は形だけで、子供は同室で遊ばせていた」

「顔合わせ程度」など。子供を数人一緒に遊ばせて、様子を見る園もありました。

Q：決定するポイントは？

A：「歩いて通園できる」「仲良しのお友達が一緒」が多かったです。他に「家庭と園の教育方針が似ている」というお話も。気付かなかった点です。



大きな家族のような幼稚園

①年齢、性別、障害にこだわらないグループで過ごす

②親たちのサークル活動、子育て勉強会が盛ん

③うわさが先行しているが、先生のお話をきちんと聞き、ルールを守って生活している

毎日、泥だらけになって、雨が降っても先生と一緒に外遊び。先生の監視の下、本物ののこぎりや包丁も使い、様々な体験をして学んでゆける環境があります。親同士のつながりが強く、子育ての悩みも相談にのってくれます。

親も子供も一緒に育ち、先生方も加わって、ひとつの家族となって、子育てしている幼稚園です。



園長先生の人柄が感じられる幼稚園



①歩き通園で、お子さんと手をつないで通える

②お弁当、自由さ

③園長先生の人柄の良さ

遊び中心の気さくな幼稚園です。食事を自分で食べられなくても、オムツがとれていなくても大丈夫です。朝、「幼稚園に行きたくない」と言われても、歩き通園なので、長い時間をかけて説得することができます。また、お迎えの時には、先生にその日の子どもの様子を聞くことができます。

園に近い子どもが多く、初めての集団生活をする前のお友達関係が、自然な形で継続していくところがとても魅力です。

急がず焦らずの幼稚園



①幼児期のかげがえのない時間を大切に、ゆっくりと過ごせる

②年少さんの保育時間は個々にあわせて

③自由遊びの時間が多い

年少さんは夏休みまで午前保育で、夏休み後、徐々に長くなります。しかし、全員が長くなるわけではなく、慣れない子供の保育は無理に長くせず、一年近く短い保育時間の場合もあります。一人ひとりに合わせて、延ばしていきます。玩具は布製で、ぬくもりがありました。園庭に動物もいて、仕事=遊びの幼児にとっては、遊びから発見がたくさんある様子です。

やっぱり公立

①入園・保育料が安いのがメリット！

②園の近くに住んでいるお友達がいっぱい、親同士も気さくなお付き合いが出来る

③卒園児のお母さんが、いろいろな行事にお手伝いに来てくれる



年長さんと年少さんが一緒に遊んだり、お互いの交流が多いので自然と面倒を見合ったりする関係が作られていく様子です。公立の為先生は少ないけれど、お母さん達やご近所の人たちのお手伝いで助け合い、地域の小・中学校との交流もあります。入園前の児童に月1回開放されている「ひよこ組」では、紙芝居を見たり、園庭で園児達と一緒に遊べます。

アットホームな幼稚園

- ①アットホームで園長・副園長夫妻のこだわりや愛情が随所に感じられる
- ②各クラスのママが交代で作る手作り給食が好評(担当は年1回ぐらい)
- ③のびのび自由保育ながら、しっかりしたカリキュラムがある

園庭はそれほど広くはないけれど、高低差の工夫をこらした木の遊具があったり、パードウォッチングができたりと自然とふれあう工夫がなされていて人気があります。そこではよく大工仕事や園芸をしている園長の姿が見られ、子供達とのかかわりを大切にされている様子。副園長は園全体のお母さんといった雰囲気であたたかく見守ってくれます。



Q: 幼稚園へ行っている間は何をしていますか?

A: 「園のお母さんたちのサークル活動」「お母さん仲間とお茶」「幼稚園のお手伝い、行事の準備」などでした。なかに、「通園している間は、下の子に時間をかける」というお話もありました。

<編集委員の感想>

- 幼稚園に行かせることは子供にとっても母親にとっても新しい社会への第一歩という感じ
- “なにげに見学”ではなく、自分で大切にしたい点を考え、“しっかり見学”したいと思いました。
- 大事なお子さんを通わせている幼稚園、そしてそのママ達の思いを受け止めつつ、お子さん達の楽しい場所を提供する幼稚園、双方があって成り立つのですね!
- 幼稚園の事を話してくれたお母さん方はとても生き生きしていました。色々参考になりました。出席下さりありがとうございました。

★★★ご協力いただいたお母様がた、ありがとうございました★★★

神愛まつり

今年も大盛況で終了した神愛まつり。実行委員を担当して頂いたひだまりママに、参加した感想などのお話を伺いました。



◆嬉しかったこと

最近はなかなか会えなくなったひだまり卒業ママたちと一緒に“手作り”したり、園児のママと交流をもてた事。

◆その他の感想

想像以上に真剣に取り組まれていて、感心の連続でした。保育園児のお母様たちのパワーに圧倒され、勉強になりました。



◆大変だったこと

ひだまりの時間内でできなかった事。思ったより時間がかりました。

◆来年の方へアドバイス

達成感があって楽しいので、ぜひ参加されることをおすすめします。園児のお母さん方から手作り以外にも喫茶コーナー等に参加して頂けたら…という意見もありました。



園児のお母様方、ひだまりやひだまり卒業ママにより手作りされた品が出品されました。

- ・玉ねぎソース・せっけん・リンゴジャム・王子ポーロ・通園バッグ・牛乳パックの椅子・座布団
- ・プリントTシャツ・木製判子・ミニクリスマスカード・タオルワンピース(プール用)など大変好評だったそうです。心のこもった手作りの品の数々…本当にありがとうございました。



大変好評だった玉ねぎソースレシピをご紹介します!

たまねぎ6ヶ オリーブオイル適宜 塩適宜 空きビン。

1. 玉ねぎの繊維を断ち切るように薄切りにする
2. 鍋にオリーブオイルを熱し、中火で1を焦がさないように炒める。(1時間くらい)
3. 玉ねぎがアメ色になったら塩を加えて混ぜる。
4. 冷めたら3を詰め、ビンに対して5mm分ほどオリーブオイルを入れる。



我が家発
ちよこつと自慢しちゃいます！

食事中咳き込む慈瑛に、陽悠が背中をやさしくトントン。私がやったのを見て真似したのではなく、さりげなくやっていたので、何とも微笑ましかったです。

転んだら、5歳の兄ちゃんにも「だいぶ〜ぶ（大丈夫）？ 泣かないヨ」と声を掛けて、兄弟愛を感じマス。絵本を読んであげられる兄さんは、夜のトイレがこわくて、弟達に付き添ってもらってマス（*^_^*）

<今井美和子さん&慈瑛くん、陽悠くん 当時2歳5ヶ月>

<2月の予定>

- 1日(木) すこやか測定
2日(金) 食事会
7日(水) 青空保育（深川北子ども家庭センターと共催）
13日(木) 母親講座「わくわく絵本」 講師：北条章子氏
22日(木) 子育て Learn&Talk「ひだまりと私」
ひだまりについてなんでも話し合う
27日(火) 誕生会



☆3月のL&Tのテーマが「絵本」になります

【春の日差し】

大寒だというのに、春を思わせるような日差しに戸惑いを感じます。冬はどこにいったのでしょうか……。さて、たんぼぼ通信70号ができあがりました。

編集委員の方の記事は早々にできあがっていたにも関わらず、またまた発行が遅れまして申し訳ありません。幼稚園の座談会に参加して下さった方々、また取材に応じて下さった方々ありがとうございました。

座談会での話しを聞きながら、考えさせられたことがたくさんありました。未来を担う子どもたちがどのように育って欲しいのか、わたしたち大人がしっかりと考えなければならない時なのだと思います。

子どもと共にあることの喜びをかみしめつつ……。子どもたちの未来を皆様と共に考えていけたらと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いたします。



かぬか